



早期整備が待たれる柳沢住宅



阿部幸一議員

住宅問題 復興事業の進捗状況は ほぼ計画どおりである

問 柳沢住宅の整備を早期に進めては。

佐藤町長 今年度から整備することで第6回復興交付金事業計画に事業費を要望しており、25年度に改修工事に係る実施設計業務を、26年度には改修工事を実施したいと考えている。

問 26年度中に完成する見込みか。

阿部建設課長 26年度末までに完成させたい。

問 屋上に避難できるように整備しては。

阿部建設課長 復興交付金事業で対応できるか、国や県とさらに協議していく。

問 整備についてどの程度自信があるか。

阿部建設課長 交付金事業とすることで申請しており、十分認められると思う。

問 高台移転場所は18カ所くらい整備するようだが、どの程度決まったか。また、計画どおり進んでいるか。

佐藤町長 個別意向確認調査の結果、現時点で15カ所程度の整備になるものと見込んでいます。そのうち田の浜地区と織笠地区の2団地は、おおむね用地の取得が完了している。他の箇所についても用地交渉中、あるいは交渉準備中である。現時点では、ほぼ計画どおり進んでいる。

税務 収入の確保に努めているか 各課と連携し対応している

問 税務課長の役割は行政にとつて最大のポジションであると思うが、各課と相談しながら税金の確保に努力しているか。

佐藤町長 税務課長に限らず、全ての課長が重要なポジションとして町政を担っているものと考えている。適正な課税と収入の確保のため、関係課との連携、情報の共有を従来から行っている。

復興事業の進行に伴って生じる用地の買い取りや住宅の再建などに係る適正な賦課のためにも、関係課との連携がますます重要になると考える。



相談に応じる税務課職員

その他の質問

- ◆ 建設工事の入札について
- ◆ 保育園について
- ◆ NPO問題について